

市政は市民のためにある。私たちがそれを忘れてはならない！

石渡 登志男 議員



問 白里海岸の浸食対策だが、私はこの問題の為に、屏風ヶ浦に行ってきた。ここに消波工を設置した事により、九十九里浜の砂の供給が絶たれ、浸食されてきた。そこで県から砂の浸食を防ぐ為ヘッドランド等を設置したいという構想計画が出てきた。これでは浸食は防げないだけでなく、むしろ浸食を加速する恐れもあるという。一宮海岸、ヘッドランドが10基もある。1基10億円かかるとも言われているが、ヘッドランドの間は離岸流が発生しやすくなり、こうなると泳げなくもなる。一宮海岸は海水浴場の幅も狭まっていった。どうしてヘッドランドにこだわるのか？ヘッドランドと養浜は国からのお金の問題で一体化しているようだ。白里海岸には、ヘッドランド3基、離岸堤2基さらに小突堤1基、早い話がコンクリートの塊を造るぞという計画。コンクリートではなく、むしろ養浜（砂を供給）だけに留めるべきだ。白里海岸は本市の最大なる観光資源。人は自然があるから行くのであり、コンクリートという人工物で固められた所に行く訳ではない。九十九里浜は、自然が6千年かけてつくり上げたようだが、人はわずかな数年間に破壊しようとしている。私たちは自然を後世の方々に引き渡す事こそが使命であり、コンクリートの塊を引き渡すことではない。県からたまたま台が出たが、本市はこれについてどう考えているのか。

答 県は養浜による砂の確保などの課題もあり養浜だけでは浸食を防止できないと言われている。市はコンクリート構造物による整備を極力控えた計画にしていたらいいと考えている。

問 独立型太陽光発電、これは道路の脇等にある産業用太陽光発電ではない。災害時に役立つものになる。1万から3万円台あれば、設置可能

電気がストップしても災害時に役立つはずだ。こういった事を市民にお知らせすることも一つの方法となる。それについてどうか。

答 家庭用非常電源については、太陽光発電やガソリン発電機など、非常時の電源確保を行っていたただけように市民の皆様にお知らせする方法を検討する。

問 避難所生活、住宅の耐震性があっても火災を考えなければならぬ。特に5団地は住宅が多い。消火能力を超えてしまった場合、延焼する恐れがある。内閣府が昨年4月発表した避難所運営ガイドライン。市はその当時、避難所運営マニュアルについて検討すると話であったが、その後どうなっているのか。

答 本市避難所運営マニュアルの作成を進めている。

問 地震はいつやってくるかわからない。市民生活の安心・安全の為1日も早く作ることが大事。市政の責務は市民の命と財産を守ることだ。

問 いじめ問題、以前大綱中の自殺寸前まで追い込まれた生徒のいじめに私は深く関与した。あまりにも学校や市の対応には目に余るものがあり、大綱中に出向き校長先生と2人だけで話をさせていた。その後解決に至ったが、口うるさい議員が出ていかなければきちんと対応が出来ないようではダメだ。他県で2生徒が自殺したが、関係者は保身に走る、そして子どもの自殺後、頭を下げる記者会見、見ている大変見苦しい。では、本市の不登校やいじめの件数はどうなっているのか。

答 27年度不登校は小中学校で57名、そしていじめの認知件数は32件です。

問 一つずつ状況は違うが、必ず解決していくことが大事。不登校・いじめは本市から一掃させていきたい。大人が真剣になり立ち上がっていかなければならない問題だ。

オリンピック等のチャンスを生かし、住民に魅力的な町作りをめざして！

森 建二 議員



「政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を今議会で議員発議させて頂きます。簡単に言えば、今まで年度初めの一括支給であった政務活動費を、領収証添付の後払い方式に改め、透明性を高めて必要な支出のみの支給にして行こうとする物です。可決されれば県内初の事例となるそうです。今議会では予算特別委員会、29年度予算案についてチェックをする話し合いが行われ、私も参加致します。チェック機能を高め、不要不急の支出は減らす。使うべきところは惜しみなく使う。今後も、市民の目線で、民間の感覚を市政に生かすことが出来るよう頑張ります。

●東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等の誘致について 2020年の開催に伴い、県内でも多くの市町村が事前キャンプ等に向けた動きを進めています。誘致については国際交流推進、更に市が掲げる「多文化共生推進プラン」にも合致し経済効果も期待できる。市の考え方、他市町村の動き、そして市の動きについて。

答 各国選手団の事前キャンプ招致や聖火リレーの誘致、国際交流、観光振興など様々な情報の収集に努め、庁内で検討を行い、連携して対応を図っています。キャンプ誘致には、費用対効果や支出の妥当性などを検討しながら慎重に判断して参りたいと考えます。

現在把握している県内の事前キャンプ予定地は、県がオランダオリンピック委員会との間で基本合意に至ったオリンピック13競技、パラリンピック9競技については、千葉市、松戸市、流山市、香取市、習志野市、館山市の6市が予定されており、その他成田市、佐倉市、印西市ではアメリカが、山武市ではスリランカが事前キャンプ地として予定されている所です。

本市の取組としては、本年1月22日にケニア共和国、駐日特命全權大使及びケニア陸上競技連盟代理人による大綱白里アリーナの現地視察を受け入れました。同国の女子バレーボールチームが施設を使用する可能性が有ります。視察結果は本国に報告されており、その回答待ちであるとの報告を受けております。

問 29年度から市の産業振興課は、農業振興課／商工観光課に分かれ、観光にも積極的な動きができるようになってくるかと期待をしております。

●窓口業務に関するマイナンバーカードの活用について 1月30日から、千葉市をはじめとする12市町で、住民票などの各種証明書や全国のコンビニのマルチコピー機や市内の区役所等の証明書発行機から、夜間休日でもマイナンバーカードを利用して取得できるようになった。市民も便利であり、行政も人手を介さず交付できるため効果的な税運用に繋がる。現在のマイナンバーカードの交付状況、及び同様のサービスを導入する予定は。

答 本年1月末日現在の本市におけるマイナンバーカードの交付枚数は5,297枚で、交付率は10.5%。全国では約8%、千葉県全体では約9%です。同システムの構築に当たっては初期費用として約4,200万円、また年間の維持管理費として毎年約800万円の費用が必要との事。加えて、証明書一通あたりの手数料として123円かかり、導入には費用対効果を考慮せねばならないと考えます。

問 そんなにかかるのですか。現状では慎重にならざるを得ませんが、今後の調査研究もお願いします。

※その他、「市営住宅について」、「住民福祉の向上について」、質問しました。

市民の不安、疑問について！

宮間 文夫 議員



現在我が国は、安倍首相が先頭に立ってアメリカ大統領をはじめとする各国首脳と会談し、外交しております。日本国民が今後どのように生活していくかという問題を必死に考え、行動していると感じます。北朝鮮の事件のようなことが日本には起きるはずはないと信じますが、東京都の小池知事は、都民ファーストとよくおっしゃっています。国政も都政も市政も、民が主役の政治であるべきことは当然です。民が納めた税金で行われることですから。もし納税者が主役ではなく、政治家が自分の選挙のため、ご自分が出世するためにあえて都民ファーストなる団体に参加するのなら、それが都民ファーストではないということではないでしょうか。大綱白里市においては、そのようなことはないと思っております。私は、私の信念である「強きをくじき、弱きを助け、みんなが主役の政治」を目指して、今後とも精進、奮闘してまいります。

市長をはじめ、職員の皆様方におかれましては、市民サービス向上のため、朝早くから夜遅くまで、あるいは休日も返上してご努力されている事に敬意を表します。本日は市民の皆様の率直な疑問、不安に基づきまして一般質問をいたします。

問 まず大綱病院の有効活用及びさらなる医療の充実についてです。産科、小児科を誘致するにあたって、大綱病院の隣接地に招致したほうが将来的にはよいのではないかとこの考えがございしますが、いかがでしょうか。

答 大綱病院に産科、小児科を設置することにしましては、入院及び夜間の体制も整えると想定しますと、各専門医、助産師、看護師の新たな配置及び、施設の増設などが必須となります。全国的に産婦人科医、小児科医が不足している中で、両科とも特にチーム医療が求められますので、多数の専門医、またスタッフの確保が必要となります。そのため、大綱病院の規模では人材確保と施設整備の両面で実現が困難であると考えております。

問 現在、みどりが丘の市有地に誘致する産科、小児科のことを私が言っているのは、場所的に大綱病院の隣接地が将来的にはよろしいんじゃないかという思いで質問しております。大綱病院を運営していく上において、大変な負担がかかっていると思うんですけども、そうしたときに少しでも補助金を、市からの補助を少なくするためには、特徴を出していく事だと思っております。病院案内を見ましても、そんなにアピールされているとは感じません。それに院内にしか置いていない。これも市の各施設等に置くべきだと思っております。

答 大綱病院の診療内容としましては、救急治療、がん治療などの急性期医療から生活習慣病などの慢性期医療、さらには緩和ケアなどの終末期医療まで幅広い医療を行っております。特徴的な診療としては、外房地域でも数少ない血液疾患の治療ができる病院として一定の評価をいただいていると認識しており、そのほかにも消化器疾患における内視鏡的治療、外科手術、がん化学療法などの高度な治療にも強みがあり、各種学会からも認定されております。

問 病院の運営は難しいことだと思っております。市長事務方針の最後のほうにも「収支が大変だ。しかしながら二一ズに励まなければならぬ」とあります。本年度中に医療情報システムの更新に伴うカルテの電子化や会計案内表示板の設置を行うというようなことが方針にうたわっておりますので、非常に市民としてはありがたい話だと思っております。他4件の質問をいたしました。